事務事業評価シート

事業種別	継続	単独	事業類型	I	ソフト事業

1次評価のみ対象分

	コード	名　称	区分	コード	名　称
事業名	509	老人保健指導経費	会計	01	一般会計
			款	04	衛生費
基本施策	01	10万市民の健康を維持する	項	01	保健衛生費
			目	01	保健衛生総務費
施　策	5	保険・医療・福祉の連携	細目	121	老人保健指導経費
			細々目	01	老人保健指導経費

基本計画該当頁	60	担当部課	コード	130600	評価者氏名	内田　秀弘	連絡先	22 - 9659
行革大綱の重点事項番号			名称	健康福祉部健康保険課				(内線) 2650

事業の計画・内容

事業目的	対象等（何が、誰が）	成果（どうなるのか）
	老人保健受給者で該当月受診者 （※対象件数　12,000　）	「医療費のお知らせ」により受診した医療機関・総医療費等が分かり、多受診、重複受診の抑制につながり、医療費の適正化が図れる。

開始年度	平成　年度	関連事業	
終了年度	平成　年度	根拠法令・要綱等	

本年度事業内容	年3回老人保健受給者で該当月の受診者に「医療費のお知らせ」を送付する。	状況変化等	医療費制度改革により、老人保険制度が廃止され、平成２０年度から「後期高齢者医療制度」が施行されるため、広域連合が行う事業となる。

整備内容

1 建設用地 2 建設面積（延床面積） 3 規模・構造 4 総事業費	千円

運営体制

1 運営主体 委託先 2 配置（予定）人員 3 年間運営費 4 市内の類似施設	□直営　□指定管理　□民間委託等 （　　） 人 千円

事業実績

活動指標	単位	実績値 H17		実績値 H18		目標値 H19	目標値 H20
受診者全員に通知（H18から延べ人数）	人	目標	—	目標	12000	29000	—
		実績	12627	実績	28592		
通知回数	回	目標	—	目標	3	3	
		実績	1	実績	3		
		目標	—	目標			
		実績		実績			
		目標	—	目標			
		実績		実績			
		目標	—	目標			
		実績		実績			

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値 H17		実績値 H18		目標値 H19	目標値 H20
医療費のお知らせ送付対象人数	受診者全員に送付することにより、医療費への認識を深め、重複受診、多受診を減少させ医療費の適正化が図れる	人	目標	12700	目標	12000	29000	—
			実績	12627	実績	28592		
			目標		目標			
			実績		実績			

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	老人保健法により実施する必要がある
有効性	4	医療費への認識を深め、重複受診、多受診を減少させ医療費の適正化が図れる
達成度	4	年３回受診者全員に通知
効率性	3	送付件数は受給者全員への送付ということで低減の余地はないし、「お知らせ」の作成方法も、現状の委託の方法をとるしかないので削減はむずかしい。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	廃止	

進捗状況	平成１７年度 決算内容				平成１８年度 決算内容				平成１９年度 計画内容				平成２０年度 計画内容			
年度	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額
委託				(千円)				(千円)				(千円)				(千円)
工事	需用費			254	役務費			1,603	役務費			1,704				
	役務費			799	委託料			824	委託料			1,381				
進捗率(%)	事業費計(A)		Σ	1,053	事業費計(A)		Σ	2,427	事業費計(A)		Σ	3,085	事業費計(A)		Σ	0
事業投入人員	人件費(B)	0.5	人	3,600	人件費(B)	0.5	人	3,600	人件費(B)	0.5	人	3,600	人件費(B)	0.0	人	0
フルコスト (A)＋(B)				4,653				6,027				6,685				0

事業費（人件費除く）の財源内訳

		平成１７年度	平成１８年度	平成１９年度	平成２０年度
(A)	事　業　費	1,053	2,427	3,085	0
Aの財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	受益者負担				
	その他				
	一般財源	1,053	2,427	3,085	0
	計	1,053	2,427	3,085	0
備考	特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等				